

各教科の結果と質問紙調査との関連を分析して、正答率の高い傾向にある児童生徒

生活に関わること

学習に関わること

- 朝食を毎日食べている。
- ●起床、就寝時刻が決まっていて守って いる。
- ●学校に行くのが楽しいと感じている。

- ●読書が好きである。
- ●授業での話し合い活動で多様な考 えに気づき、学びを深めている。
- I C T 機器を活用し、わからない ことがあるとすぐに調べて学習して

学校での取り組み



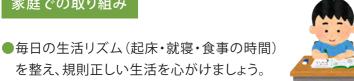
学力向上に向けた今後の取り組みとして

- ●飯舘村教育委員会版「令和7年度 学力向上推進プラン」の飯舘型授業スタイルを基に学習の全過 程で児童生徒の活動を認め、称賛しながら、一人ひとりの姿を見取り、支援していきます。
- ●少人数教育のメリットをいかして個に応じた指導を継続していきます。 さらに、福島県教育委員会から出された「学びの変革推進プラン」に基 づいて、児童生徒が主体的で対話的な学びを進め、「学び出す」「学び合 う」「学びとる」授業の展開を進めていきます。
- I C T機器を積極的に活用し、協働的な学びや思考力・判断力・表現力 の向上に役立たせてきました。引き続き活用しながら個別最適な学びに もつなげていきます。



●思考力、判断力、表現力の向上のために、授業では児童生徒たちの「話すこと・聞くこと」の充実を 図り、自分の考えを説明したり、文章を書いたりする機会を増やしていきます。

家庭での取り組み



●「アウトメディアチャレンジ」を基にゲームやスマートフォン

を整え、規則正しい生活を心がけましょう。

の使い方を親子で話し合いルール作りをしましょう。

- ●読書の習慣をつけさせましょう。家庭で本と触れ合う機会を つくりましょう。
- ●「家庭学習の手引き」を参考にお家での学習を習慣化させま しょう。
- 問 飯舘村教育委員会☎0244-42-1631



■ 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果から ■

令和7年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。

この調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立て ていくことです。今年度は3教科(国語、算数・数学、理科)の教科調査と質問紙調査(学習・生 活状況に関する質問)を実施しました。

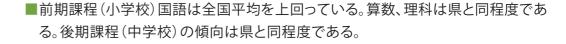
飯舘村教育委員会では、調査結果から子ども達のよさや課題を把握し、継続的な検証改善 サイクルを確立しながら確かな学力を育むことを目指しています。

福島県の傾向



- ■小・中学校国語と理科が全国平均をやや下回っている。小学校算数と中学校数 学においても全国平均を下回っているが、昨年度より全国との差が縮まっている。
- ■質問紙調査から「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深 めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」と答えた児童生徒は全国 平均を上回っている。
- ■全国平均と比べてⅠCT機器を効果的に活用した協働的な学びの推進に課題 がある。

飯舘村の傾向



- ■質問紙調査から「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた児童 牛徒は全国平均及び県平均を上回っている。
- ■授業におけるICT機器の活用頻度は全国や県平均に比べてとても高い。
- ■学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)家庭で勉強する時間について、 後期課程(中学校)は全国平均を上回っているが、前期課程(小学校)は下回ってい

